食品用放射線測定器ベクレルモニターLB-200

食品、植物、水、土壌に含まれる放射能汚染測定用モニターです。

放射能汚染水調査に人気！

NaIシンチレーション検出器

電池駆動で現場に持って行けるのが強みです。

食品、植物、水、土壌

◆食品、植物、水、土壌の放射線計測用

◆トータルガンマ線量をBq/L（Bq/Kg）ベクレル単位で計測

◆ボタン3つの簡単操作(使いやすさバツグン)

◆測定時間は、約15分。◆バッテリー駆動で現場で測定が可能

◆シンチレーション検出器NaIを採用

（直径25mmx25mm）

◆サンプルビーカー容量500cc　◆ドイツBERTHOLDベルトールド社製

◆「緊急時における食品の放射能測定マニュアル」厚生労働省に対応した放射線測定器です。

放射線検査機関でも使用されている信頼の食品用放射線測定器ベクレルモニターLB-200です。

キャリングケースに収納できるので 持ち運び可能です！

短時間で計測可能です。約15分

標準税別100万円を 特価94万円(税込987,000円)

1台在庫あり。日本語取扱説明書つき

◆英語（独語）のメーカー校正証明書つきになりました。

食品用放射線測定器ベクレルモニターLB-200の特長

●高い技術により、食物、植物、溶液（水、牛乳）などの放射能汚染度の測定ができます。
●検出管は、NaIシンチレーター採用のNaIシンチレーション検出管を使用しています。
●外部電源アダプタの他に、電池駆動も可能なので、現場に持ち出しての測定も簡単にできます。
●測定器自体のランニングコストはほとんどかかりません。
●ガンマ（γ）線の全体量を測定する機器です。
●測定対象物を鉛容器に入れて測定するため、外部の自然放射線（バックグラウンド）の影響を最小限に抑えることができます。
●測定単位はBq/l（ベクレル毎リットル）。
※食品の残留放射能濃度（Bq/kg:ベクレル毎キログラム）の計算もできます。

緊急時における放射性ヨウ素測定法

「緊急時における食品の放射能測定マニュアル」厚生労働省

以下のサイトにpdfで紹介しております。

http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001558e-img/2r98520000015cfn.pdf

---

（参考2）原子力安全委員会が定めた飲食物摂取制限に関する指標
放射性ヨウ素（飲料水）300Bq/kg
放射性セシウム（飲料水）200Bq/kg

http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001b17t.html

食品用放射線測定器ベクレルモニターLB-200

放射能汚染水の調査に最適です。

電池駆動で現場に持って行けるのが強みです。すぐ結果がでてくるし、森林などでの現場での測定が可能なので、便利です。

市民団体、市民放射能測定所でよく使用されているのがLB-200です。

食品用放射線測定器ベクレルモニターLB-200を使用した「緊急時における食品の放射能測定マニュアル」に沿った計測方法

ベクレルモニターLB-200の測定操作も容易で、鉛遮蔽体内に検体をセットし、Bqボタンを押せば測定は開始されます。 測定時間を設定し、終了時にSTOPボタンを押すと測定値が表示されます。 ただしパソコン出力はないので、測定結果を手書きする必要があります。

http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r98520000019v70-img/2r9852000001a0nj.pdf

上記サイトをご参照ください

上記サイトをご参照ください。

Bqボタンを押すだけで、10分ぐらいで計測可能です。
STOPボタンを押して終了します。
分析センターでも使用されている機種です

続けて測定する場合は、サンプルを入れ替え、
再度Bqボタンを押し、同じ手順で計測可能です。

食品用放射線測定器ベクレルモニターLB-200を使用した
「緊急時における食品の放射能測定マニュアル」に沿った計測方法その2

ボタンを押すだけで、10分ぐらいで計測可能です。
分析センターでも使用されている機種です

放射線測定器ベクレルモニターLB-200の仕様

検出器	NaIシンチレーター採用のNaIシンチレーション検出器 検出器　直径25mmx25mm
サイズ	外寸：直径120mmx240mm（鉛容器） 測定室：95x120x85mm　（鉛容器：240mm）
検出器の重量	約800g
測定ユニット	0.1-999CPS　1-9999Bq/L 電源アダプターまたは、バッテリー（4xLR20） 寸法：220x230x70mm
鉛容器	壁厚：15mm　寸法：高さ1115mmx直径120mm　重量：約8Kg
ビーカー	プラスチック　容量500cc
保存ケース	400x400x180mm

*LB-200にパソコン用の出力はございません。
セシウム137で校正されています。

食品・水の残留放射能の検知のための付属品

アイテム名	スペック
アルミケース(上図参照)	寸法：40cm×40cm×18cm
計測器本体（ハンドル付）	寸法：24cm×24cm×7cm 重量：2kg
鉛容器のふた	
ビーカー	プラスチック製、有効容量：500cc
鉛容器	直径：12cm、壁厚：15cm 高さ：11cm 重量：5.9kg

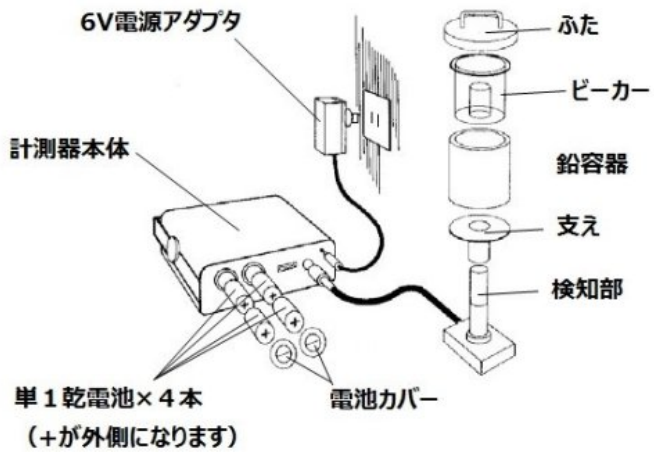
鉛容器の皮え		
検知部（ケーブル付）		土台部分寸法：9.5cm×11.5cm 高さ：17.5cm
電源供給アダプタ		110V/ 50/60Hz ～220V/20Hz

食品用放射線測定器ベクレルモニターLB-200のオプション

LB-200用マリネリビーカーLB-200RS 1個入り 9,000円(税込9,450円)
LB-200用マリネリビーカーLB-200RS 10個入り 80,000円(税込84,000円)
10月入荷予定

プリンター 7万円（税込73,500円）

基本ユニットは、下の写真のようにアルミケースに収められています。



食品、水溶液用放射能汚染測定用モニタLB200でセシウム、ヨウ素の各成分の測定はできません。ガンマ線全体量を測定する機器です。

測定器のランニングコストは、特に必要ありません。

測定対象物を鉛容器に入れて測定するため、外部の自然放射線（バックグランド）の影響を最小限に抑えることができます。

ベクレル／L（ベクレル毎リットル）単位で表示できます。
食品の残留放射能濃度（Bq/Kg：ベクレル毎キログラムの計算もできます。

ヨウ素、セシウム、ウラン、プルトニウムおよび 超ウラン元素のアルファ線は測定できません。

直径10cm　高さ11.5cm　500ccの容器に入るものでしたら、大丈夫です。
プラスチックの袋入りでも大丈夫です。

食品、水溶液用放射能汚染測定用モニターの質問と回答

Q1） セシウム、要素などのそれぞれのベクレル数が別々に計れますか？
A1） いいえ。この機種は、トータルで測定します。

Q2） 何が含まれているかの（セシウム、プルトニウムなど）の表示はありますか？
A2） ありません。 この機種では、線源の特定はできません。

Q3） ガンマ線の計測と説明がありますが、ポータブルタイプのガイガーカウンター（0.01～9.99マイクロシーベルト毎時）と比べ、精度がかなり高いと考えてよいでしょうか
A3） そういう訳ではありません。

Q4）主に食品について計測したいのですが、牛乳、水などのほかに、味噌、肉、マヨネーズ、野菜など形状の複雑なものも計測可能でしょうか
A4） 可能です。 ビーカー形式の容器に被測定対象物を入れるようになっていますので、そこに入るものであれば何でも可能です

Q1） 分析可能なのはヨウ素131が主なものというふうにサイトに記載がございましたが、セシウム１３４、セシウム１３７の分析はほとんど不可能という理解でよろしいでしょうか。

A1） 当機は基本的に、セシウム１３４で校正を取るように設計されており、線源の特定はできません。
試料から放射されるγ線が全てセシウム１３４であると仮定した数値が表示されます。
そこで、他の線源の場合には取扱説明書の付表にある補正系数を測定値に乗算して算出します。 また、この係数は当機に設定することもできます。

Q2） ヨウ素131だけでなく、セシウム134、セシウム137が崩壊していく過程においてガンマ線を放出した場合には、そのガンマ線は測定が可能でしょうか。

A2） 上記のとおり、線源にかかわらず、仕様によれば、40KeV以上のγ線を測定します。
従ってご指摘のセシウム134、セシウム137が崩壊の測定もされると思われます。
ただ、上記の通り、線源によって補正系数が違いますので、線源の存在比などが予めわかっていなければ、どの線源がいくらベクレル存在するかの割り出しは難しいでしょう。

アフターサービスについて
日本から海外のメーカーまでの往復の送料はお客様負担です。
商品の保証は、メーカー保証書の内容に準拠します。

- 初期不良・修理についての対応
- 保証書について

▲このページのトップへ